

ピアサポーターによる がん患者さん相談会のご案内

ピアサポートとは
がんの治療体験者が
がんにかかった方の不安や悩みを伺い、
受け止め、寄り添い、ともに考えることです。

日付 : 毎月 第4木曜日
時間 : 10:30 ~ 12:30
場所 : 正面玄関 ホスピタルラウンジ前

申し込み等は不要です。お気軽にお立ち寄り下さい。
手作り帽子もお渡しできます。

平成29年6月1日より

中区大須(地下鉄上前津)に移転!
アクセスが、さらに便利になりました!!

あなたや
あなたの大切な人が
がんになったら

名古屋市がん相談情報サロン
ピアネット

「がんになっても安心な街づくり」を進める名古屋市と、
がんのピアサポート活動に取り組む
NPO法人ミーネットが協働で運営する
「がん相談と情報収集、がん患者会交流」などの場です。

 NPO法人ミーネット

中部ろうさい病院 がん診療推進委員会

連絡先: がん相談支援センター(よろず相談室)

Q がんのピアサポートとは？

A ピア (Peer) とは「仲間」「同じ立場」、サポート (support) は「ささえる」「寄り添う」を意味する言葉。がん体験者が、コミュニケーション技術やがんの基礎知識を学び、治療体験や療養生活で得た共通の経験と関心を基盤に、相談者 (がん患者や家族) の悩みや不安を共感的に受け止め、ともに問題解決の糸口を探ること

Q ピアサポートの具体的な活動は？

A 【ミーネットの場合】
名古屋市と協働で運営する「名古屋市がん相談・情報サロン ピアネット」および愛知県内の病院 (2016年10月1日現在、国指定がん診療連携拠点病院10施設、県指定がん診療拠点病院6施設) での相談対応が活動の柱

Q がん患者団体などで行っている患者相談との違いは？

A 【ピアネットの場合】
一年間の研修 (約90時間の講座と実習) を修了したピアサポーターが、ルールを遵守して相談にあたっている

Q 素人ががんの勉強をして相談に対応すると治療に影響がでるのでは？

A 「医療介入 (医療的な判断やアドバイスなど) をしない」ことがピアサポートの鉄則。ピアサポーターが、がんの医学的な基礎知識を学ぶのは相談者の悩みを正しく理解するため

Q ピアサポーターが受ける相談の内容や対応の方法は？

A 相談者が語る内容は、医学的な問題 (例: 自分が受けている治療に対する不安や疑問)、日常生活上の問題 (例: 患者に適した食事)、心理的な問題 (例: 自分や家族の行く末に関する不安) など多種多様。傾聴と共感を基本にしながら、がんの個別性に配慮しながら、必要であれば自己の体験を語る。患者がわからないことは、学習や解決の手助けをする意味で共に考え、共に調べる。ピアサポーターが解決するのではなく、患者自身が答えを出せるようにサポートする。内容によって、より適した相談先の紹介や医療者との意思疎通のためのアドバイスなどを行う